令和７年度　第２回

春の歌運営推進会議　報告書

日 　　　　 時： 令和７年７月１７日（木） １３：３０～１４：３０

場 　　　　 所： 春の歌

**１．報告事項**

〇基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 法　人　名 | 株式会社縹色 |
| 事 業 所 名 | 春の歌 |
| 住　　　所 | 札幌市北区拓北4条3丁目12番16号 |
| 電話/FAX | ０１１－７９２－５８６０/０１１－７９２－５８６２ |
| 事 業 所 番 号 | ０１９０２０２３３３ |
| 事 業 種 別 | 指定介護予防小規模多機能型居宅介護・指定小規模多機能型居宅介護 |
| 事業開始年月日 | 令和5年11月１日 |
| 登録定員 | １８名（営業日/問い合わせ：365日/9:00～18:00） |
| 通い定員 | １日９名まで（提供時間：9:30～16:00） |
| 泊り定員 | １日３名まで（提供時間：16:00～9:30） |
| 訪問対応 | 24時間対応 |
| 職員数 | 常勤4名（兼務2名、専従2名）、非常勤６名（うち看護師1名） |

〇出席者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村職員 | 0名 | 知見を有する者 | ２名 | 地域住民・地域団体 | １名 |
| 利用者 | ０名 | 利用者家族 | ０名 | 地域包括支援センター | ０名 |
| 近隣事業所 | ０名 | 事業所職員 | ２名 | その他 | ０名 |

**（１）利用者の状況**（令和７年７月１７日現在）

〇登録者数及び男女比

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | ６ | ７ | ８ | ９ | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 登録者数 | １５ | １５ | １６ | １７ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 男性 | ４ | ５ | ５ | ５ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 女性 | １１ | １０ | １１ | １２ |  |  |  |  |  |  |  |  |

〇地域

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 拓北 | 3 | 2 | ２ | ３ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| あいの里 | 4 | 5 | ５ | ６ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 篠路（篠路町上篠路） | 5 | 5 | ６ | ６ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 太平 | 2 | 2 | ２ | ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 百合が原 | 1 | 1 | １ | ０ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 東茨戸 | 0 | 0 | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |  |  |

〇要介護度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 要支援１ | 0 | 0 | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要支援２ | 0 | 1 | １ | １ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要介護１ | 5 | 4 | ４ | ３ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要介護２ | 6 | 7 | ６ | ６ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要介護３ | 2 | 2 | ２ | ４ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要介護４ | 1 | 1 | １ | １ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 要介護５ | 0 | 0 | ０ | ０ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 申請中 | 1 | 0 | ２ | ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |

**（2）活動報告**

|  |  |
| --- | --- |
| ５月～６月 | ・春の歌ヨガ（第１火曜日）　・春の歌麻雀（月水土）　・鶏にごはん届ける・制作（藤棚）　・誕生会　・たこ焼き作り　　・バーベキュー　・梅仕事（梅干し、梅シロップ）・外出、ドライブ（前田森林公園）　 |
| ７月 | ・春の歌ヨガ（第１火曜日）　・春の歌麻雀（月水土）　・鶏にごはん届ける・制作（紫陽花、スイカ、七夕）　・誕生会・ドライブ（ロイズガーデン、幌見峠） |

※５月は前回の運営推進会議後。

**☆その他、暮らしの中で行っていること☆**

・お茶入れ、調理、おやつ作り、配膳、食器洗い、洗濯干し、洗濯たたみ、掃除、洗車

・雑巾縫い、生け花、

・買い物（商品選び、セルフレジで会計）

・資源ごみをまとめリサイクルセンターへ持ち込み

・フットケア、アロマハンド、アロマ

🌸**春の歌と地域のかかわり・地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み**🌸

・すこやか倶楽部（認知症講話）に利用者1名、医療大学生と参加

・ふわふわカフェ（認知症カフェ）に利用者家族（介護者）3名、医療大学生と参加

・透析を受ける利用者の対応（送迎、透析中の付き添い）

・ラーメン食べたいという利用者と、ラーメンを食べに行く

**（３）事故及びヒヤリハットの報告**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | 内容 | 対応 | 再発防止 |
| R７.5.18 | 【紛失リスク】訪問マンションのゴミ庫にゴミ捨ての際、自宅の鍵が必要なため持参したが、ゴミ捨ての後に鍵がないことに気づく。 | 探して、職員のカバンの外ポケットにあるのを発見。 | ゴミ捨ての際、手から滑り落ち、カバンの外ポケットに落ちた。キーホルダーがついておらず鍵のみだったため、キーホルダーをつけるとともに、手に持ったまま作業しない。 |
| R７.5.28 | 【転倒】訪問訪問時にノックをして入室の際、出迎えた利用者が方向転換をした際にバランスを崩して扉にもたれかかるように座り込んだ。 | 体を支えたが、支えきれなかった。痛み等の確認。 | 180℃方向転換をする動作が必要となるので、出迎えに来た際にはバランスを崩す可能性があることを予測して支える準備をする。 |
| R７.5.28 | 【誤薬リスク】通い昼食後薬が残っているのを14時頃に気づく | 気づいてすぐに服用してもらった。 | 昼食時対応の職員が失念していたことが原因だが、すぐにリカバリーできるよう昼休憩から戻った職員も薬の棚を確認してダブルチェックができるようにする。 |
| R７.5.28 | 【怪我リスク】通い建物横に駐車した車に乗車しようと建物側を歩いていた際、窓が開いているのに職員が気づかず、ぶつかる危険があった。 | 利用者が窓をよけてあるいてくれ、大事に至らなかった。 | 移動の際は周囲の状況を確認してから移動する。窓側には職員がつく。 |
| R７.6.16 | 【転落リスク】通い利用者1人で２階に上がっていた。（1階トイレ使用中で２階に行った様子） | 2階にいた職員が気づき、トイレを済ませて１階へ下りた。 | 1階職員が台所で作業中だったが、利用者見守りの体制のため、複数名の職員が1か所に集中しないようにする。利用者の行動を見守りながら作業をする。 |
| R７.6.26 | 【訪問忘れ】訪問透析送迎の訪問を忘れた。 | 病院から連絡もらい気づく。すぐに訪問し病院へ送った。 | 自分の担当と時間を出勤時に確認、アラームを鳴らして注意喚起。業務日誌の透析送迎にマーカーで印をつけておく。 |
| R７.6.30 | 【1人で帰宅】通い近所に住む利用者を徒歩で送迎しているが、送る際、車で帰る利用者が帰る準備している間に1人で帰っていた。 | いないことを確認後、すぐに自宅に行く。 | 「忙しい職員に送ってもらわなくても1人で帰れる」との思いだった様子。送迎準備が始まる少し前に担当職員が徒歩で送る。 |
| R７.6.29 | 【火事リスク】訪問たばこの管理をしている方のライター回収忘れ。 | 翌日訪問の職員が気づき回収。 | 預かっているライターの数を袋に大きく記載。出し入れする際に数の確認を徹底する。春の歌に戻った際も、もう一度確認する。 |
| R7.7.12 | 【誤薬リスク】訪問自宅で朝薬を飲む方の薬セット忘れ。 | 朝、訪問する職員が気づいて持参。 | 夕方、最後に帰る職員が、訪問表に薬が入っているかを確認。朝訪問する職員が訪問に出る前に確認。訪問表ファイルに大きく「薬セット」と記載し注意喚起。 |

**（4）職員研修参加状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付・場所 | 研修名 | 主催者 | 参加者 |
| R7年5月17日（土）かでる２・７ | 動物たちと暮らすロックな日々講師：保持雅子（つどい場だんだん代表） | ホッカイドウ地域けあ研究会 | 鬼塚亜美 |
| R７年5月19日（月）春の歌 | メンタルヘルス研修カラーセラピー（色であなたの心がわかる）外部講師　佐々木いづみ　様 | 内部研修 | 全職員 |
| Ｒ７年5月１9日（月）春の歌 | 身体拘束廃止研修 | 内部研修 | 全職員 |
| R７年6月10日（火）～11日（水）R7年6月23日（月）～24日（火）社会福祉法人幸清会札幌研修センター | 令和7年度　第4回認知症介護実践研修（実践者研修） | 社会福祉法人幸清会 | 髙倉一恵 |
| R7年6月18日（水）春の歌 | 認知症研修外部講師　木村むつみ　様 | 内部研修 | 全職員 |
| Ｒ７年６月１８日（水）春の歌 | 高齢者虐待防止研修 | 内部研修 | 全職員 |
| R7年6月2１日（土）～6月22日（日）札幌コンベンションセンター札幌市産業振興センター | 第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会「そこ・そこ」のプライマリ・ケア～それぞれの場で、ふさわしくあるには～ | 日本プライマリ・ケア連合学会　北海道ブロック | 杉本香陽 |
| R７年6月２９日（日）Zoom | POOマスター養成研修会 | 合同会社プラスぽぽぽ　うんこ文化センターおまかせうんチッチ | 杉本香陽 |
| R7年７月５日（土）～12日（土）オンデマンド | 北海道医療大学看護福祉学部2025年度前期公開講座福祉と当事者のリアル世界が注目する日本の「カイゴ」講師：加藤忠相（株式会社あおいけあ代表） | 社会福祉法人ゆうゆう | 鬼塚亜美 |

**（5）事業所の地域参加**

|  |  |
| --- | --- |
| R７年5月18日（日） | サポートたくあい　ボランティア（鬼塚） |
| R7年５月２０日（火） | 拓北あいの里ケア施設町内会５月例会（鬼塚・杉本） |
| R７年５月２２日（木） | ふわふわカフェ（鬼塚） |
| R7年６月6日（金） | 生活支援ボランティア　意見交換会（鬼塚） |
| R７年６月１７日（火） | 拓北あいの里ケア施設町内会６月例会（鬼塚・杉本） |
| R７年６月１９日（木） | ふわふわカフェ（鬼塚） |
| R７年６月１６日（水） | グループホームのどか運営推進会議（鬼塚） |
| R７年６月１６日（水） | ライフサポート・札幌館地域連携推進会議（鬼塚） |

**２．地域の情報提供**

・運営推進会議への参加を町内会長、役員、区長へ働きかけを行っている。会長は体調不良のため、役員と区長からは、町内会の役員会や例会も簡略化しているため、事業所の情報など知っても町内会役員内で生かすことができない。地域の方に知ってもらいたいのなら、事業所の情報を回覧してもいいのではとの意見をいただきました。その場合も興産社町内会全体にまわすのか、事業所のある１区だけでいいのかなど検討必要。春の歌としては、事業所から近い人に知ってもらいたい想いがあるので、まずは１区だけで回覧と考えている。（春の歌）→春の歌で回覧板の板を寄付して、その板に広告を載せるのはいいのでは。板の色もむらさき色など高齢者が見やすい色を選定するといい。（H氏）

・従業員の人数が十分ではない状況。カイテクという医療福祉専門のスキマバイトを利用している。お互いにマッチングできれば直接雇用できるため、今後も利用する予定。（春の歌）

**３．質疑応答**

・町内会の不参加については記録を残しておいたほうがいい（T氏）

・ヒヤリハットについて。同じような間違いが起こっているので、ヒヤリハットを記録するのが目的ではなく、同じ過ちを繰り返さないための方法を考えることが必要と事業所内で伝達中。（春の歌）→失敗だけを見ると監視になってしまい、失敗を隠したくなる。「ハッピーホッと」として成功事例の積み上げをしてはどうか。（H氏）

・認知症の方への対応が「業務」にならないよう、その方の顔を見て何が必要か感じる力を持ってほしいと思っている。介護に従事した人は「管理的」「事業所都合」「効率化」の中で働いてきたので、その感覚が抜けない部分もあると感じている。（春の歌）→課題解決の方法については、たくさんのことを言うのではなく、「１人に一つの課題について、改善していくには？」と考えてもらうといい。（H氏）

**次回開催**

令和７度 第３回春の歌運営推進会議は、９月1８日（木）１３：３０から開催いたします。